
平成 23 年度 学芸大学駅周辺地区「交通安全対策」説明会 概要

日 時：平成 23 年 9 月 29 日（木） 午後 7 時 00 分～午後 8 時 30 分

場 所：鷹番住区センター2 階 第 3・4 会議室

参加者：11 名

目黒区：都市整備課：幡野課長、双木係長、馬瀬技師

土木工事課：高橋係長、内田主事

コンサルタント：益永、小林、本田

概要議事

報告事項、資料等の説明

- ・ 学芸大学駅周辺地区の街づくりについて
- ・ 学芸大学駅周辺地区交通安全対策の実施について
- ・ 「あんしん歩行エリア形成事業計画」の内容について
- ・ 平成 23 年度事業の具体的な整備内容について

意見要旨

（交通安全対策について）

- ・ 旧六中跡地の南側道路は、補助 26 号線まで突き抜けるのか。旧六中跡地の敷地を突き抜けて補助 26 号に接続する形になると、地区内に流入する交通量が増えてしまうのではないかと危惧している。
旧六中跡地の南側道路は、補助 26 号線に接続する形にはならない。
- ・ 碑文谷公園脇には、暗渠があるが、その部分はどのようになるのか。
整備する際は、一体で考えていく。
- ・ 路側帯の幅が広がるのは良いと思うが、幅が広がったとしても、家から植栽がはみ出している場所では、車線の方にはみ出していないと見通しがきかず、危険。
どのような対応をとっていただけるか。
危険箇所を教えていただき、個別に対応する形をとることになる。
- ・ 道路に色を塗ると滑りやすくなるのが危惧されるが、大丈夫か。
当該整備において使用するカラー化の材料は、骨材が入った滑りにくい材料である。
- ・ 世田谷区のところは、居住者のみ通行可にするなど、考えた方が良い。

（自転車対策と路上の障害物について）

- ・ 路側帯にカラーコーンが置かれていると、歩行者は、そのカラーコーンをよけて車線側にはみ出さないといけず、危険。
- ・ 三井住友銀行前をはじめとする事業所や家の前に自転車を止められないようにするためにカラーコーンを置いているのは、道路交通法上問題ないのか。
- ・ 商店街では、薬局前のトイレトペーパーや花屋の植木などが道路上に出ているが、そういったものを置いたら自転車置場にして欲しい。
店舗前に駐輪できる場があると良いのは分かるが、基本的には既設の駐輪場への誘導を行っている。また、一定規模以上の店舗等については、駐輪場付置義務条例がある。

（事業効果について）

- ・ 費用対効果について、簡単に教えて欲しい。
あんしん歩行エリアの事業においては、5年間で事故を2割減らすことを目標にしており、目標達成に向けた取り組みをしていくこととしている。
- ・ 銀行やパチンコ屋の前に置かれたカラーコーンは、道路を狭くしている。工事が決まったのだから、コーンの設置をなくすよう、働きかけた方が良く、工事後も同じ状況となってしまうのは、整備効果がなくなってしまう。

(事業費について)

- ・ 相当お金がかかるのか。
緑地の整備も含めて予算額が2,200万である。
- ・ 1年で2,000万、5年間で1億かかるなら、住民としても難しいところだが、住民が考えて、事業を行わなくても良いという判断を下すこともあるのではないかと。
事業費は圧縮したが、全体の事業をやめるということはない。国からの補助金を導入しながら、進めていきたい。

(電線類地中化について)

- ・ 区長は、電柱地中化を進めると表明しているが、メインの鷹番通り等は何時ごろになるのか。
地中化事業を行っている箇所は、都立大学前である。次に洗足駅前を予定していたが、今回の事業見直しで先送りとなった。
事業には、かなりお金がかかる。また、トランスを置く場所が必要になるため、歩道がある箇所でも難しい。学大のように歩道がない箇所では、かなり難しいと思う。
- ・ 無理して、お金を掛けたことはすべきではないと思う。

(碑文谷公園周辺の安全対策について)

- ・ 碑文谷公園前の交差点、碑文谷薬局のところは、自転車やバイクが置いてあり危険。
大きな交差点は、余計に危険であるため、交差点を小さく絞るなど、検討していきたい。
- ・ 目黒通りから上がってきて鉄道沿いの通りに入っていこうとしたとき、信号が分かりにくいいため、分かりやすくして欲しい。
- ・ 線路沿いからくる方の信号は、点滅信号。運転者のモラルの問題もあるが、事故が起こりやすい。
- ・ グラウンドのところは、碑文谷公園通りを南から上がっていくと一通の標識が見えない。分かりやすい標識にして欲しい。
- ・ 点滅信号は、交通法規を知らない人がいるため、危険。
警察等にも相談し、対応を考えていきたい。

(西口駅前の花壇の整備)

- ・ 西口の駅前には、花壇が出っ張っていてもたむろしている人がいる。花壇が縮小整備されて直線的になれば、たむろが2重になることが想定される。
- ・ 喫煙コーナーが近くにあることも理由の一つかもしれないが、花壇を削ったときに併せて、何か対策ができないか。
- ・ 花壇の縮小整備によって起こりうる事も考えて、対策も考えながら整備して欲しい。
構造物の問題と、使い方の問題と両方あると思う。
喫煙コーナーについては、住民の方を交えた別の会議でご意見をお聞きし検討することを予定しており、また、柵を取るのと併せて路側帯の線形をどうするかなど検討していきたい。